

令和元年度(第29期)
事業計画及び予算

株式会社 銚子マリーナ

令和元年度（第29期）事業計画

株式会社銚子マリーナ

項 目	内 容
銚子マリーナ 事業計画の概要	<p>当マリーナは、平成11年4月の開業以来、マリーナの利用者をはじめ、当施設や周辺地域を活用した各種イベントなどの展開を通じて、多くの来訪者、市民に親しまれ、本市観光拠点の一つとして重要な役割を果たしてきました。</p> <p>リニューアルオープン以降、緩やかではありますが増加傾向にあった保管契約艇数も、平成29年度末の121艇から30年度末には113艇に減少しており、海洋レジャーへの啓発活動が必要な状況です。</p> <p>令和元年度は、更なる集艇活動の継続、並びに海洋レジャーの啓発に繋がるイベントの打ち出し等を積極的に発信してまいります。併せまして、マリーナ利用者の永続的な契約を目指し、安全・安心・快適なマリライフを念頭に施設及び設備の充実、サービスの向上に取り組んでまいります。</p> <p>マリンレジャーのみならず、総合レクリエーションの場所と同時に観光拠点として関係機関と連携・協力しながら事業を進めてまいります。</p>

令和元年度（第29期）予算

〔平成31年4月 1日から
令和 2年3月31日まで〕

株式会社 銚子マリーナ
(単位：円)

勘定科目	金額	備考
売上高	91,907,600	
利用料売上	49,650,600	艇置場利用料・施設利用料・臨時利用料・上下架利用料
その他利用料売上	2,857,000	船台使用料・レンタル艇利用料 ほか
燃料売上	10,200,000	
修理売上	9,000,000	
部品・用品売上	20,200,000	
売上原価	30,560,000	
燃料売上	7,650,000	
修理売上	6,750,000	
部品・用品売上	16,160,000	
売上総利益	61,347,600	
販売促進費計	2,383,600	
交際費	290,000	慶弔費等
広告宣伝費	1,170,000	雑誌等広告料 ほか
諸会費	323,600	銚子市観光協会年会費、日本マリン事業協会費 ほか
サービス料	500,000	
運送費	100,000	配送料 ほか
人件費計	30,612,400	
給与・諸手当	15,840,000	在籍従業員4名(内1名新規採用)
賞与	4,142,400	
法定福利費	3,235,000	健康保険料、厚生年金保険料、労災保険料 ほか
厚生費	1,395,000	健康診断・退職保険 ほか
雑給	6,000,000	アルバイト人件費
一般管理費計	28,275,539	
旅費交通費	1,170,000	
雑費	720,000	官報掲載料、登記手数料、その他事務所維持費
水道光熱費	4,400,000	電気、ガス、上下水道料金
業務委託費	1,030,000	決算申請手数料、弁護士費用 ほか
リースレンタル料	463,000	社用車リース料他
事務用消耗品費	200,000	
消耗工具備品費	1,770,000	
維持管理費	7,600,000	保守管理費、電気保安手数料、巡回・機械警備業務委託費
修繕費	3,000,000	トラベリフトメンテナンス ほか
通信費	790,000	電話料、専用回線使用料
保険料	2,191,000	所有物件・船舶保険料、損害賠償保険料 ほか
減価償却費	4,436,539	トラベリフト ほか
図書研修費	300,000	研修費用ほか
租税公課	205,000	印紙税、預金利子税 ほか
経費合計	61,271,539	
営業利益	76,061	
営業外利益		
雑収入	4,145,740	公園管理料・シースタイル助成金他
経常利益	4,221,801	